

経営基盤強化の取り組み

長期的な企業価値向上に向け、環境、社会、ガバナンスの視点から経営基盤の強化に取り組んでいます。

富士電機の企業活動とSDGs/CSR

富士電機は、「豊かさへの貢献」「創造への挑戦」「自然との調和」を経営理念に掲げ、エネルギー・環境事業で持続可能な社会の実現に貢献していくことを経営方針の柱に据えています。これは、国際社会が目指す、SDGs達成に向けた経済、社会、環境の統合的向上を図る取り組みと合致するものです。CSRは、SDGs達成への貢献に向けたあるべき企業行動として、当社の企業行動基準の実践により、環境、社会、ガバナンスの視点から主要課題の取り組み(次頁参照)を推進しています。



SDGsの推進

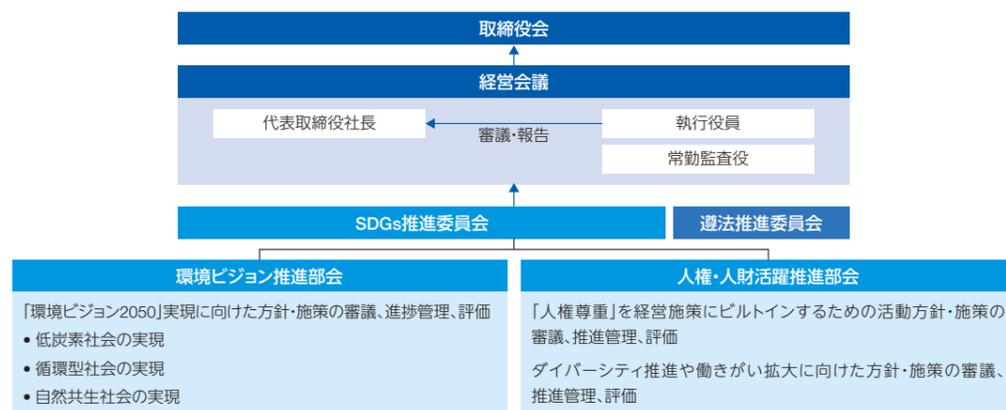
SDGs達成への貢献に向け、企業活動全体で取り組む9つのSDGs目標を設定し、2019年6月に発表しました。

2020年4月には、SDGs推進を経営レベルで議論・決定・評価することを目的に、SDGs推進委員会を新設しました。SDGs視点による当社の重要課題や事業のリスクと機会の整理、それらの戦略への落とし込みと、その実行評価を行います。特に、環境側面では、低炭素社会の実現を骨格とした「環境ビジョン2050」の推進、社会側面においては、人権と人材活躍の推進を重要課題として、それぞれの課題に対応する部会を設置し、活動の方針・施策の審議、推進管理、評価に取り組んでいきます。

なお、委員会で審議された内容は経営会議および取締役会において報告・審議されます。



SDGs推進委員会の役割と重要課題	
● 委員	事業・営業部門およびコーポレート部門の執行役員
● 役割	① SDGs視点による当社の重要課題ならびに事業の機会とリスクの整理 ② 重要課題の戦略への落とし込みおよび実行と評価(PDCA管理)
● 重要課題	① 「環境ビジョン2050」の推進 ② 人権と人材活躍の推進



環境・社会・ガバナンスの主要課題の取り組み

長期的な企業価値向上に向け、企業行動基準の実践のうえで重要となる課題を設定し、サプライチェーンを含め、環境、社会、ガバナンスの視点から経営基盤の強化に取り組んでいます。

<重要課題>

- 環境: 「環境ビジョン2050」を柱に、あらゆる企業活動を通じて地球温暖化対策に取り組めます。

- 社会: 人権尊重、多様な人材の活躍推進や働き方改革に取り組めます。
- ガバナンス: 昨今の経営リスクの多様化を踏まえ、グローバルでのコンプライアンスの徹底、リスクマネジメントの一層の強化に取り組めます。

分野	企業行動基準	主要課題	主な取り組み	関連するSDGs	参照ページ
環境	地球環境を大切にします	低炭素社会の実現	■ 省エネ製品の提供による社会のCO ₂ 排出量削減 ■ 生産活動における温室効果ガス排出量削減	7 再生可能エネルギー、7.2 再生可能エネルギーの割合を増やす、9 産業と資源効率を高める	環境 P31
		循環型社会の実現	■ 製品や生産活動における3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進	12 つくばない・つぎはぎ、13 気候変動に具体的な対策を	
社会	人を大切にします	人権尊重	■ 人権デュー・デリジェンスの実施	4 質の高い教育をみんなに、5 ジェンダー平等を實現しよう	人財 P37 ウェブサイト (下記URL参照)
		安全/健康な職場	■ 安全衛生に対する社員意識の向上 ■ 労働災害撲滅に向けた安全衛生監査の実施 ■ 社員の健康確保とメンタルヘルスケア	8 働きがい、経済成長を、16 平和と公正をすべての人に	
		多様な人材の活躍	■ 女性の活躍の場の拡大 ■ 60歳以上の社員の活躍促進 ■ 障がい者の職域拡大	5 ジェンダー平等を實現しよう	
		ワーク・ライフ・バランス	■ 働き方改革の推進 ■ 仕事と仕事以外の生活の両立支援と職場風土づくり	8 働きがい、経済成長を	
		人材育成	■ 次世代経営人材の育成強化 ■ グローバル人材の育成強化	4 質の高い教育をみんなに	
社会	お客様を大切にします	お客様満足の上昇	■ 製品・サービスの品質向上 ■ お客様サポート・サービス体制の強化	12 つくばない・つぎはぎ	ウェブサイト (下記URL参照)
	お取引先様を大切にします	持続可能な社会を支えるサプライチェーンの構築	■ 公平・公正な調達 ■ お取引先様と進める社会的責任	12 つくばない・つぎはぎ	サプライチェーン P60
	社会への参画を大切にします	地域との絆づくり	■ 「自然環境保護」「次世代育成支援」の地域貢献活動の実施 ■ 海外事業の重点地域における地域貢献活動の実施	4 質の高い教育をみんなに、13 気候変動に具体的な対策を	社会への参画 P62
ガバナンス	グローバル・コンプライアンスを最優先します	コンプライアンス・プログラムの確実な運用	■ 「富士電機コンプライアンス・プログラム」に基づいた社内ルールの策定・改廃、監視・監査・教育の実践 ■ 社員への遵法意識の浸透	11 持続可能な消費と生産パターン、16 平和と公正をすべての人に	コンプライアンス P53
		リスクマネジメント	■ 事業継続力の強化 ■ 情報セキュリティの強化	11 持続可能な消費と生産パターン、16 平和と公正をすべての人に	リスクマネジメント P55
	経営トップは本基準の実践を徹底します	経営の透明性・監督機能の強化	■ コーポレート・ガバナンス体制の強化		コーポレート・ガバナンス P41
	株主・投資家を大切にします	株主・投資家との建設的な対話	■ 適時、公平、公正な情報開示 ■ 株主・投資家との対話活動の充実	12 つくばない・つぎはぎ	コーポレート・ガバナンス P48

ESG(環境、社会、ガバナンス)
<https://www.fujielectric.co.jp/about/csr/>